

題名はスペイン語 一歩ずつという意

在日中国人の中学生と勉強して考えたこと

李 潤清

私は中国人のIT技術者です、10年ほど川口夜間中学校のお世話になって、日本語がだんだん上手になりました。

最近、学校に来る生徒が多くて、スタッフが足りないので、私が教えてもらう立場から教えるほうへ変わりました。

最近の2ヶ月ぐらい、中国からの二人の中学生が私の生徒として一緒に日本語を勉強しています。中国語で教えるうちに、彼たちの今までの日本の学校での苦勞が分かりました。二人はまだ子供なのに、中国本土で生活している「小皇帝たち」と比べると本当に可哀そうだと思っています。

史君と孫君、14歳、川口市在住、来日半年ぐらい、中学校2年生、普段日本語を教えられる人がいないので、学校の授業時間で、先生の言葉が殆ど分からないのです。いつも同級生たちに笑われたり、悪口を言われたり、ときどき悪い子に虐められたこともあります。当然に学校で日本人の友達がいなくて、毎日毎日、寂しくてつまらない学校の生活を過ごしています。朝あんな学校にはとてもとても行きづらいついて言っています。

子供たちの話を聞いて、私がとても同情して、こんな環境は子供たちの成長に悪いと思ひ、親たちがどう考えているか、「学校の状況を親に教えましたか」って聞きました、「日本では、今の学校以外で勉強できる場所がないから、我慢して勉強しなさい」って言ったそうです。実は、親たちは自分たちも日本に慣れるように苦勞しているのではないかと、そのため、子供の教育と管理になかなか手が回らないのではないのでしょうか。

日本の学校教育の中で、いじめとか不登校とかいろいろ問題があるそうですが、これと同時に外国人の子供の教育に対しても一つ問題として考えてほしい、だれかが助けてくれませんか。

二人の子は、家の近くで川口自主夜間中学というところを見つけまして、おかげさまで、現在、毎週2回たくさんの外国人の大人たちと一緒に夜中を通して、日本語も少しずつ、上手になってきています。

自主夜間中学で、私みたいレベルの人でも二人の子に日本語を教えられますが、もし、川口で公立夜間中学ができれば、勉強したい人が正式な先生から教えてもらえば、助かるねと思ひながら、いつか実現できるかなあ～



2・3月予定

	火曜日 (かわぐち市民パートナーステーション)					金曜日 (栄町公民館)			
2月	3日	10日	17日	24日	-	6日	13日	20日	27日
3月	3日	10日	17日	24日	31日	6日	13日	27日	—

スタッフ会議

2月24, 27日に行います。
教室は8時までになります。
スタッフは、どちらかに必ず出席しましょう。



今年も料理教室が開かれます、毎年の楽しみは、今年
はどんな料理が食べられるかです。
教室に来られない友達もたくさん誘って参加してくだ
さい。

日 2月28日(土)
集合時間 午後3時
場所 栄町公民館(金曜日の学習場所)
会費 800円

《参加される人へ》

- *料理を作ってください方は、食材を10人分用意してください。(かかった費用は請求してください)
- *3時から料理実習が始まります(遅刻をしないようお願いします)
- *5時30分には食べられるようにします。食事だけに参加される方も、5時までには来てください

日本語の学習 ワンポイント

物をさすことば

Aさん これは何ですか

Bさん それはてんぷらです

一フレーズの _____ を入れかえて、練習しましょう。
れんじゅう

